



平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算短信

平成 22 年 2 月 9 日

上場会社名 **ロート製薬株式会社**

上場取引所 東証一部 大証一部

コード番号 4527

(URL <http://www.rohto.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 吉野 俊昭

問合せ先責任者 役職名 取締役 経営情報本部長

氏名 藤井 昇

TEL (06) 6758 - 1211

四半期報告書提出予定日 平成 22 年 2 月 10 日

[単位 百万円 : 未満切捨]

1. 平成 22 年 3 月期第 3 四半期の連結業績(平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22 年 3 月期第 3 四半期	82,702	0.8	9,156	1.4	9,467	6.6	5,642	19.7
21 年 3 月期第 3 四半期	82,015		9,034		8,881		4,715	

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	47.98	47.77
21 年 3 月期第 3 四半期	40.31	40.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22 年 3 月期第 3 四半期	115,914	71,572	61.2	603.02
21 年 3 月期	112,086	67,117	59.3	565.23

(参考) 自己資本 22 年 3 月期第 3 四半期 70,918 百万円 21 年 3 月期 66,476 百万円

2. 配当の状況

・現金配当

(基準日)	1 株当たり配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21 年 3 月期		6.00		7.00	13.00
22 年 3 月期		7.00			14.00
22 年 3 月期(予想)				7.00	

(注) 1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

2. 22 年 3 月期第 2 四半期末配当金の内訳 普通配当 6.00 円 記念配当 1.00 円 (目薬発売 100 周年)

3. 平成 22 年 3 月期の連結業績予想(平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	111,000	0.4	11,600	0.3	11,500	1.3	7,200	17.3	61.22

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年3月期第3四半期	117,907,528 株	21年3月期	117,907,528 株
-------------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

22年3月期第3四半期	300,715 株	21年3月期	296,825 株
-------------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数（四半期連結累計期間）

22年3月期第3四半期	117,609,259 株	21年3月期第3四半期	116,976,158 株
-------------	---------------	-------------	---------------

（注）業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想に関する事項は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出や生産の増加によって一部では景気が持ち直してきているものの、昨年来の世界的な経済危機による景気停滞や急激な為替変動が企業収益へ影響を及ぼしています。さらに雇用や所得環境も改善がみられずデフレ圧力が強まるなど、消費の低迷からの脱却はまだまだ見通すことのできない状況にあります。このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても高付加価値の製品を開発し市場の活性化に努めてまいりました。

国内におきましては、アイケア関連は、新製品の「ロートアルガードコンタクト」や「ロートリセ洗眼薬」が順調に推移いたしました。前期に大ヒットとなった解眼新書シリーズのドライエイド2品の反動減があったことや清涼感タイプのロートZiシリーズが伸び悩みました。スキンケア関連は、暖冬傾向の影響により保湿系の医薬品やリップクリームなどが伸び悩んだものの、「肌研(ハダラボ)」「50の恵」「オキシー」などビューティ関連が好調でありました。また、内服関連では、新型インフルエンザの流行により一般用医薬品の風邪薬市場が停滞する中、風邪薬関連は減収となりましたが、分かりやすい漢方薬シリーズ「和漢箋」は、「ロート防風通聖散錠」をリード役に「ロート防己黄耆湯錠」など新製品が堅調に推移いたしました。その他分野では、新型インフルエンザ流行によりマスクやインフルエンザ検査キットが増収に寄与いたしました。海外におきましては、円高進行による為替換算の影響に加え、経済環境の悪化もあり北米、ヨーロッパは減収となりました。一方、アジアは「肌研(ハダラボ)」ブランドや男性用化粧品などスキンケア関連が順調に推移し増収を確保いたしました。

その結果、売上高は827億2百万円(前年同期比0.8%増)となりました。利益面につきましては、営業利益91億5千6百万円(同1.4%増)、経常利益94億6千7百万円(同6.6%増)、四半期純利益につきましては、投資有価証券の評価損が減少したことにより56億4千2百万円(同19.7%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は1,159億1千4百万円となり、前連結会計年度末より38億2千8百万円増加しました。これは、のれんが10億1千6百万円減少した一方、現金及び預金が18億4百万円、商品及び製品が15億9千1百万円、投資有価証券が14億5千3百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は443億4千1百万円となり、前連結会計年度末より6億2千7百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が16億円増加した一方、流動負債のその他が17億1千万円、長期借入金が9億9千3百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては715億7千2百万円となり、前連結会計年度末より44億5千5百万円増加しました。これは、利益剰余金が40億3千8百万円、その他有価証券評価差額金が8億5千万円増加したこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は一部には回復の動きが見られますものの、引き続き深刻な状況にあり、国内におきましても、雇用情勢の悪化や円高の影響が懸念されるなど、依然として先行き厳しい状況が見込まれます。

当社グループを取り巻く事業環境につきましても、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、当第3四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成21年11月10日に公表いたしました連結業績予想は修正しておりません。

上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

・ たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

・ 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・ 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更

当第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第22号 平成20年5月13日)を適用しております。

これによる資産及び損益に与える影響はありません。

以外の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,956	6,151
受取手形及び売掛金	27,768	27,891
商品及び製品	10,296	8,704
仕掛品	1,038	1,096
原材料及び貯蔵品	5,261	4,545
その他	3,825	4,177
貸倒引当金	168	202
流動資産合計	55,976	52,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,898	16,276
機械装置及び運搬具(純額)	6,095	7,005
その他	13,188	12,366
有形固定資産合計	35,182	35,649
無形固定資産		
のれん	1,407	2,423
その他	1,311	1,302
無形固定資産合計	2,718	3,726
投資その他の資産		
投資有価証券	18,144	16,691
その他	3,977	3,736
貸倒引当金	85	81
投資その他の資産合計	22,036	20,345
固定資産合計	59,937	59,721
資産合計	115,914	112,086
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,984	8,383
短期借入金	4,267	4,252
未払法人税等	2,013	1,637
賞与引当金	774	1,651
役員賞与引当金	22	30
返品調整引当金	745	622
売上割戻引当金	2,184	1,964
その他	15,470	17,180
流動負債合計	35,462	35,721
固定負債		
長期借入金	3,686	4,679
退職給付引当金	1,629	1,528
役員退職慰労引当金	92	92
その他	3,470	2,947
固定負債合計	8,879	9,247
負債合計	44,341	44,969

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,398	6,398
資本剰余金	5,517	5,517
利益剰余金	58,734	54,695
自己株式	238	234
株主資本合計	70,412	66,377
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,766	3,915
繰延ヘッジ損益	3	12
為替換算調整勘定	4,255	3,803
評価・換算差額等合計	506	99
新株予約権	593	593
少数株主持分	60	46
純資産合計	71,572	67,117
負債純資産合計	115,914	112,086

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	82,015	82,702
売上原価	33,234	34,803
売上総利益	48,780	47,898
返品調整引当金繰入額	192	123
差引売上総利益	48,588	47,775
販売費及び一般管理費	39,553	38,619
営業利益	9,034	9,156
営業外収益		
受取利息	79	49
受取配当金	327	286
為替差益	-	268
持分法による投資利益	33	5
その他	144	85
営業外収益合計	583	695
営業外費用		
支払利息	355	276
為替差損	247	-
その他	132	107
営業外費用合計	735	384
経常利益	8,881	9,467
特別利益		
貸倒引当金戻入額	-	8
特別利益合計	-	8
特別損失		
投資有価証券評価損	1,222	296
貸倒引当金繰入額	63	-
特別損失合計	1,285	296
税金等調整前四半期純利益	7,596	9,179
法人税等	2,870	3,525
少数株主利益	10	11
四半期純利益	4,715	5,642

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,596	9,179
減価償却費	3,142	3,404
のれん償却額	1,066	983
貸倒引当金の増減額(は減少)	9	4
賞与引当金の増減額(は減少)	821	876
役員賞与引当金の増減額(は減少)	19	7
退職給付引当金の増減額(は減少)	290	107
返品調整引当金の増減額(は減少)	192	123
売上割戻引当金の増減額(は減少)	206	220
投資有価証券評価損益(は益)	1,222	296
貸倒引当金繰入額	63	-
受取利息及び受取配当金	406	336
支払利息	355	276
持分法による投資損益(は益)	33	5
売上債権の増減額(は増加)	6,160	255
たな卸資産の増減額(は増加)	4,594	2,745
仕入債務の増減額(は減少)	3,188	1,514
その他	1,752	805
小計	2,964	11,068
利息及び配当金の受取額	383	319
利息の支払額	370	287
法人税等の支払額	4,909	3,120
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,931	7,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	5,083	3,163
無形固定資産の取得による支出	176	452
投資有価証券の取得による支出	408	312
その他	232	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,900	4,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	4,381	286
長期借入れによる収入	515	315
長期借入金の返済による支出	578	888
配当金の支払額	1,400	1,646
その他	34	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,883	1,944
現金及び現金同等物に係る換算差額	489	212
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,437	1,803
現金及び現金同等物の期首残高	9,709	6,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,271	7,855

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

	前第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)						
	アイケア関連 (百万円)	スキンケア関連 (百万円)	内服関連 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	18,542	47,595	12,088	3,789	82,015		82,015
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	18,542	47,595	12,088	3,789	82,015		82,015
営業利益	5,062	5,282	503	201	11,049	(2,015)	9,034

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類、用途(使用目的)、製造方法等の類似性に基づき区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) アイケア関連...目薬、洗眼薬、コンタクトレンズ関連品
- (2) スキンケア関連...メンソレータム、保湿鎮痒剤、リップクリーム、ハンドクリーム、
ニキビ用剤、日焼け止め、機能性化粧品
- (3) 内服関連...胃腸薬、胃腸内服液、総合感冒薬、漢方薬、サプリメント
- (4) その他...体外検査薬、花粉関連品、義歯関連品、衛生雑貨

3. 当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)の適用により、評価基準を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、スキンケア関連事業が8百万円、内服関連事業が19百万円、その他事業が0百万円減少しております。

なお、上記会計基準適用に伴い、棚卸資産廃棄損の処理方法を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、アイケア関連事業が36百万円、スキンケア関連事業が125百万円、内服関連事業が38百万円、その他事業が11百万円減少しております。

4. 第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益はスキンケア関連事業が1,204百万円減少しております。

5. 当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、アイケア関連事業が17百万円、スキンケア関連事業が33百万円、内服関連事業が16百万円、その他事業が11百万円増加しております。

	当第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)						
	アイケア関連 (百万円)	スキンケア関連 (百万円)	内服関連 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	18,314	48,452	11,844	4,091	82,702		82,702
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	18,314	48,452	11,844	4,091	82,702		82,702
営業利益	4,781	5,259	1,049	266	11,356	(2,200)	9,156

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類、用途(使用目的)、製造方法等の類似性に基づき区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) アイケア関連...目薬、洗眼薬、コンタクトレンズ関連品
- (2) スキンケア関連...メンソレータム、保湿鎮痒剤、リップクリーム、ハンドクリーム
ニキビ用剤、日焼け止め、機能性化粧品
- (3) 内服関連...胃腸薬、胃腸内服液、総合感冒薬、漢方薬、サプリメント
- (4) その他...体外検査薬、花粉関連品、義歯関連品、衛生雑貨

2. 所在地別セグメント情報

	前第3四半期連結累計期間 (平成20年4月1日～平成20年12月31日)							
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	59,287	6,265	3,718	11,795	948	82,015		82,015
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	745	1,315	3	2,132	12	4,208	(4,208)	
計	60,033	7,580	3,721	13,927	960	86,224	(4,208)	82,015
営業利益又は営業損失()	8,334	928	158	1,541	69	9,174	(140)	9,034

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北米 …… 米国・カナダ
- (2)ヨーロッパ …… 英国
- (3)アジア …… 中国・台湾・ベトナム
- (4)その他 …… オーストラリア

3. 当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)の適用により、評価基準を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は日本が28百万円減少しております。

なお、上記会計基準適用に伴い、棚卸資産廃棄損の処理方法を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は日本が211百万円減少しております。

4. 第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は北米が1,204百万円減少しております。

5. 当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、法人税法の改正(所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号)を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置の耐用年数を変更しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は日本が77百万円増加しております。

	当第3四半期連結累計期間 (平成21年4月1日～平成21年12月31日)							
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	60,777	5,138	3,318	12,593	873	82,702		82,702
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	678	1,104	7	1,938	9	3,738	(3,738)	
計	61,455	6,243	3,326	14,532	883	86,440	(3,738)	82,702
営業利益又は営業損失()	8,445	784	83	1,438	41	9,224	(68)	9,156

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

- (1)北米 …… 米国・カナダ
- (2)ヨーロッパ …… 英国
- (3)アジア …… 中国・台湾・ベトナム
- (4)その他 …… オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。